

令和2年度 学校評価(自己評価)

具体的目標および評価の観点		評価と課題
今年度の重点目標	① 生徒を真ん中に置いた少人数、個別指導に努め、生徒の自立と社会性の伸長を図る。	おおむね達成できた。
	② 体験的・探求的学習の充実を図り、授業改善による学力の向上、定着を目指す。	生徒に寄り添った授業ができている。さらに授業方法の研究ができればよいと思われる。
	③ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりに努める。	生徒の不安や苦しみを全職員が共有できている。
	④ 校外資源を積極的に活用し、保護者地域から信頼される学校づくりを推進する。	生徒が地域行事に参加する中で、自ら計画し提案する機会になればよいと思われる。

領域	重点目標	評価項目	具体的目標および評価の観点	評価	成果と今後の課題	
教育活動	学習指導	① 基本的学習習慣の確立	1 生徒に学習意欲を喚起することができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D	不登校経験者や学習障がいをもつ生徒が、目立って学習意欲が向上することは難しいが、個々の授業の工夫によって、生徒の状況に応じた学習支援ができたと思われる。今後もさらに研修を続けたい。	
		② わかる授業の実践	1 少人数を生かした授業を展開できているか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
	進路指導	① 進路意識の形成	1 進路ガイダンスを効果的に設定できたか。	<b>A</b> ・B・C・D		就労支援が必要な生徒が多い中で、インターンシップのあり方は重要である。2年生全員が長期休業中に就業体験を実施したり、数回にわたり進路ガイダンスも行った。充実した進路指導ができたと思われる。
		② 希望進路の実現	1 コース制を生かした進路実現が図られたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
	生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立	1 日常的な啓発活動ができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
		② 家庭と連携して指導できたか。	A・ <b>B</b> ・C・D			
特別活動	① 問題行動への対応	1 問題行動に適切に対処し、校則を守る意識の向上が図れたか。	A・ <b>B</b> ・C・D	スクールカウンセラーには十分に支援をいただいた。HR担任を中心に支援会議が何度も開かれた。また、ソーシャルスキルトレーニング(社会生活技能訓練)も行われた。次年度以降もこれらの取り組みを継続してほしい。		
	② 生徒支援の充実	1 スクールカウンセラーを有効に活用し、社会的自立を目指した生徒への支援を行うことができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D			
学校運営	教育課程	① 生徒の自主活動の促進	1 生徒会活動を通じ、生徒の自主性を育むことができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D	地域参加の行事は、コロナ感染防止対策のために中止が続いた。そんな中で、生徒有志による小学生との交流が行われた。全体として教員任せであり、生徒が自主的に活動するところにはいたっていない。生徒自身が計画し行動することが重要だと思われる。	
		② クラブ活動の活性化	1 既存のクラブ活動を活性化させるとともに、生徒の自主的な活動を支援できたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
		③ 将来に向けての教育課程の検討	1 本校の現状に即して、選択科目の見直しを含めた教育課程を検討することができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
	地域との連携	① 個に応じた選択科目の設定	1 個々の生徒の進路希望に応じた選択科目を設定できたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		指導要領の改訂に伴い、学校の実情に合った科目選択を編成できた。
		② 生徒の希望する進路に応じた指導はできたか。	A・ <b>B</b> ・C・D			
		③ コース制授業の充実	1 これまでの授業内容を一層充実させ、生徒が満足できるように指導できたか。	A・ <b>B</b> ・C・D		
地域との連携	① 開かれた学校づくり	1 授業公開を行い、多くの方に参加していただくことができたか。	<b>A</b> ・B・C・D	学校評議員会の折に、中条校の魅力をもっとPRすべきだというご意見を頂戴した。引き続き広報活動に努めたい。		
	② 地域と共同しながら行事等を行うことができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D				
地域との連携	③ 地域への広報活動は十分であったか。	<b>A</b> ・B・C・D				
	④ 将来に向けての本校のあり方について	1 地域の要望を聞きながら、よりよい学校づくりをすすめることができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D			
地域との連携	④ 将来に向けての本校のあり方について	2 地元中学校からの進学者の増加を目指し、本校についての理解を深めてもらえるよう、積極的に働きかけることができたか。	A・ <b>B</b> ・C・D			

\*自己評価: A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

(各具体的目標および評価の観点について上記A~Dのいずれか評価する)

※ 評価の方法および公表

- 学校自己評価 1月中旬に全職員が4段階評価で行う。
- 学校関係者評価 PTA理事会(1月29日) 第1回学校評議員会(2月4日)で評価を依頼する。
- 学校評価(総括) 学校自己評価と学校関係者評価を総括し、改善点を明らかにする。
- 結果の公表 学校評議員会・PTA総会等で報告、併せてHPに公表する。